

事務事業実績測定調査

10316010001	校務用ICT機器等管理運営業務		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006 (H18) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	校務用ICT機器等の適切な管理により、教員の事務の効率化を行い、子どもたちと向き合う時間の増加を目指す。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校に配備した校務用コンピュータの管理運営を行う。 ・学校情報セキュリティポリシーに基づく資産管理及びウイルス対策の要件を実現するため、専用ソフトウェアの利活用による情報セキュリティレベルの維持・向上を図る。 ・資産管理ソフトウェアによる機器の状況及びソフトウェアライセンス等の管理する。 ・ネットワーク強靱化のため、教育系と本庁系ネットワークの分断に伴い、学校で本庁系ネットワークを使用できるコンピュータの配備を行う。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	セキュリティ事故の発生数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	0	0	0		
実績	0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.55	0.60	2.00
正職員数	0.55	0.60	1.00
非正規職員数(計)	1.00	0.00	1.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	1.00	0.00	1.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	6,331	4,771	10,417
正職員人件費(換算額)	4,331	4,771	8,017
非正規職員人件費(計)	2,000	0	2,400
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	2,000	0	2,400
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	96,527	76,131	81,175
■事務事業の総計(千円)	102,858	80,902	91,592
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	102,858	80,902	91,592

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>校務用コンピュータについては、教職員(常勤)1人につき1台の整備のため、各学校の整備台数を把握し、適切に配備した。また、常勤の教職員を除く、非常勤の教職員等が共用で使用する校務用コンピュータを、引き続き全小・中学校に1台以上配備した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>全小・中学校に配備した校務用コンピュータの更新を行う。 学校情報セキュリティポリシーに基づく資産管理及びウイルス対策の要件を実現するため、専用ソフトウェアの利活用による情報セキュリティレベルの維持・向上を図る。 資産管理ソフトウェアやウイルス対策ソフト等の更新を行い、ソフトウェアライセンス等の管理する。</p>	

事務事業実績測定調査

10316010002	校務の情報化推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	「教育の情報化ビジョン」(平成23年4月28日:文部科学省)				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	情報の推進化による、教職員の事務効率化が図られている状態。				
事業概要	校務支援システムを導入し、学校における児童・生徒の情報を電子化して一元管理し、その情報を通知表、指導要録、出席簿等の作成や、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防ぎ、学校内の情報セキュリティの向上を図る。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	教員アンケートにおける「出席簿の3月分と年度末集計事務に要した合計時間」の平均時間					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	時間
目標(予測)	—	2.0	1.9	1.8		
実績	2.0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.25	0.45	0.50
正職員数	0.25	0.45	0.50
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,969	3,578	4,009
正職員人件費(換算額)	1,969	3,578	4,009
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	19,628	19,628	19,628
■事務事業の総計(千円)	21,597	23,206	23,637
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	21,597	23,206	23,637

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>校務支援システムの円滑な運営のため、校内システム担当者を中心に、新転任者等にも研修を実施し、操作等の習熟に努めた。 校内情報セキュリティ担当者に対し、個人情報の取り扱い等について研修を実施するとともに、各校で情報セキュリティ研修を行い、セキュリティに対する教職員の理解を深めた。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	サポートデスクに寄せられる内容をもとにフォローアップ研修を実施していくとともに、校務支援システム賃貸借契約が令和3年3月末で終了するため、新システムへの更新を検討していく。	

事務事業実績測定調書

10316010003	小中学校教育用ICT機器等整備事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名	小中学校教育用ICT機器等整備事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1991(H03)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	児童生徒が学校でICTをいつでも活用できるような環境の充実が図られている、また、教育用パソコンが整備でき、より主体的・対話的で深い学びを実現でき、子どもたちの情報活用能力の育成、教育の質の向上を図ることができる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行う。 ・ウイルス対策ソフトやフィルタリングソフトを適正に更新し、情報セキュリティの確保を図る。 ・平成29年度に更新する小学校30校及び中学校2校の授業用コンピュータについて、仕様の検討及び作成を行う。 <p>【拡充内容】 令和5年度までに全学年の児童生徒に「1人1台」のタブレット型パソコンを配備する「GIGAスクール構想」については、新型コロナウイルス感染防止に向けた学校休業措置等を踏まえて前倒しし、令和2年度中に配備できるよう必要な環境整備を行う。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	授業用コンピュータ1台当たりの児童生徒数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	6.9	1.0	1.0	1.0		
実績	5.8					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.43	1.53	3.50
正職員数	0.43	0.53	2.50
非正規職員数(計)	1.00	1.00	1.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	1.00	1.00	1.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	5,386	4,214	22,443
正職員人件費(換算額)	3,386	4,214	20,043
非正規職員人件費(計)	2,000	0	2,400
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	2,000	0	2,400
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	143,375	174,686	160,327
■事務事業の総計(千円)	148,761	178,900	182,770
国庫支出金	0	0	1,450
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	148,761	178,900	181,320

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	84.06%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>小中学校におけるICT機器等の活用を推進するため、令和元年度は、全中学校19校のコンピュータ教室にノート型パソコンを更新した。また、コンピュータ教室以外でもより一層のICT教育を進めるため、新たに中学校16校に対して、41台のタブレット型パソコンを追加で導入した。</p> <p>中学校17校のサーバの更新や授業支援ソフトウェアなどの整備を行うとともに、教員の授業におけるICT機器等の活用を推進するため、人的サポート体制を拡充した。</p>	
今後の方向性	拡充・重点化	
具体的な 今後の取組方策	<p>目標としていた「1人1台」端末をはじめとする教育用ICT機器の整備は、令和2年度中に達成する予定であり、本事業は令和2年度をもって終了する。ICT機器整備後については、学校教育におけるICT活用の推進と効果検証等を目標とした新たな事業設定を検討する。</p>	

事務事業実績測定調査

10316010009	英語教育推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名	英語教育推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006 (H18) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	英語によるコミュニケーション能力の向上及び国際性を身に付けた人材の輩出された状態				
事業概要	<p>子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の育成を図り、小・中学校の英語教育を推進するため、小・中学校間で連携しながら、外国人英語教育指導助手 (NET) や日本人英語教育指導助手 (JTE) を配置する。全中学校に各校1人の外国人英語教育指導助手 (NET)、全小学校に日本人英語教育指導助手 (JTE) を配置し、「読む」「書く」「聞く」「話す」力をバランスよく育む授業の実践と、児童・生徒の英語学習への意欲を高める取り組みを実施する。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	児童・生徒アンケートにおいて肯定的な評価(「外国の人と話したり、接したりしたいと思う」)の割合 【算出式: 肯定的回答 / 回答者総数 * 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	69	72	75		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	42.20	40.20	54.11
正職員数	0.63	0.63	0.80
非正規職員数(計)	41.57	39.57	53.31
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	4.00
非常勤職員数	41.00	39.00	49.00
臨時職員数	0.57	0.57	0.31
■人件費総額(千円)	122,908	132,754	138,384
正職員人件費(換算額)	4,961	5,009	6,414
非正規職員人件費(計)	117,947	127,745	131,970
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	16,624
非常勤職員人件費(実額)	116,133	123,682	114,734
臨時職員人件費(実額)	1,814	4,063	612
■直接経費(千円)	3,206	18,992	21,007
■事務事業の総計(千円)	126,114	151,746	159,391
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	126,114	151,746	159,391

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>◆全中学校にNET、全小学校にJTEを配置し、英語を使った体験的な学習を実施している。また、小学校に市独自で英語専科教員を昨年度に引き続き4名を配置するなど、小学校外国語活動の指導体制の充実を図った。</p> <p>◆全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導に活用をした。</p> <p>◆関西外国語大学と連携し、留学生や教員を目指す大学生、本市のNETと交流しながら英語を使った体験的な活動を行う「枚方英語村」を実施(小学生対象:6月・12月実施・中学生対象:10月実施)し、小学生延べ220人・中学生62人が参加した。</p>	
今後の方向性	拡充・重点化	
具体的な今後の取組方策	これまでの取組みについては引き続き行うとともに、NETの拡充等、児童・生徒の英語を使用する機会の拡充に努める。	

事務事業実績測定調査

10316010010	読書活動推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名	読書活動推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	学校図書館教育事業計画書				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	読書により言語能力及び幅広い知識等を習得した人材の輩出された状態				
事業概要	<p>子どもたちの読書活動を推進し、授業において課題解決や探究活動に取り組む力を育むため、市内の中学校区に学校司書を配置し、市立図書館と連携しながら学校図書館の有効活用に取り組む。</p> <p>読書活動を推進し、児童・生徒の言語能力を育むため、19中学校区を実践研究校区として学校司書を配置するとともに、司書教諭と連携しながら、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	<p>読書が好きな児童・生徒の割合 (全国学力・学習状況調査の質問紙調査における読書が好きという設問に肯定的回答(4段階中4及び3)をした児童・生徒の割合) 【算出式: 肯定的回答 / 回答者総数 * 100】</p>					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	小80, 中66	小82, 中68	小84, 中70		
実績	小77, 中64					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	10.69	11.69	19.60
正職員数	0.69	0.69	0.60
非正規職員数(計)	10.00	11.00	19.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	10.00	10.00	18.00
非常勤職員数	0.00	1.00	1.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	45,483	105,258	81,232
正職員人件費(換算額)	5,433	5,486	4,810
非正規職員人件費(計)	40,050	99,772	76,422
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	40,050	40,350	74,808
非常勤職員人件費(実額)	0	59,422	1,614
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	57	130	144
■事務事業の総計(千円)	45,540	105,388	81,376
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	45,540	105,388	81,376

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>平成30年度より引き続き、枚方市全19中学校区に学校司書を配置し、児童・生徒の情報活用能力の育成及び読書習慣の確立をめざして読書活動の推進を図った。 小・中学校では、学校図書館の学習・情報センター機能を高めるため、学校図書館の授業活用を推進しており、学校司書については授業支援を行った。 学校司書配置の効果として、図書資料の授業活用を目的とした団体貸出回数が前年度より2倍に増えるといった成果が見られた。 中央図書館主催「中学生のビブリオバトル」については、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止した。</p>	
今後の方向性	拡充・重点化	
具体的な 今後の取組方策	今後、小学校への学校司書配置など、学校図書館の有効活用について拡充を図る。	

事務事業実績測定調書

10316010011	放課後自習教室事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名	放課後自習教室事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2007 (H19) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学習意欲が高まることにより自学自習力が身に付き、学業成績が向上した状態				
事業概要	児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上を図るため、民間委託等を活用した放課後自習教室や放課後学習教室を実施し、学習機会の充実を図る。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	利用率 【算出式: 参加児童・生徒数 / 登録者 * 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	60	70	80		
実績	76					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.59	1.59	1.41
正職員数	1.39	1.39	1.41
非正規職員数(計)	0.20	0.20	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.20	0.20	0.00
■人件費総額(千円)	11,384	11,491	11,304
正職員人件費(換算額)	10,945	11,052	11,304
非正規職員人件費(計)	439	439	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	439	439	0
■直接経費(千円)	50,007	47,930	48,702
■事務事業の総計(千円)	61,391	59,421	60,006
国庫支出金	6,395	6,008	12,881
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	54,996	53,413	47,125

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>児童・生徒の学習意欲を高めるため、学力や自学自習力の向上を図るための学習コンテンツを導入することで、授業・課業時間外・家庭学習で学習ができる環境を整備し、学力向上の取り組みを推進した。</p> <p>また、放課後等において、民間事業者への委託による学習教室を実施し、児童・生徒の学力向上に取り組んだ。</p> <p>【放課後自習教室開室実績】</p> <p>小学校 開室校数:45校/45校 開室総回数:3,276回(1校あたり平均73回) 参加児童数:のべ75,450人 中学校 開室校数:18校/19校 開室総回数:466回(1校あたり平均25回) 参加生徒数:のべ2,426人</p>	
今後の方向性	改善	
具体的な 今後の取組方策	児童・生徒1人1台のタブレット配備を踏まえて、オンラインによる実施など、学習の充実に向け検討を進めていく。	

事務事業実績測定調書

10316010012	小・中学校運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2009 (H21) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	小学校学習指導要領・中学校学習指導要領で求められている教育が円滑に推進できるとともに、小学校クラブ活動・中学校部活動等、小・中学校において必要な経費が適正に管理、運用されている状態。				
事業概要	小・中学校の運営経費を適正に管理することで、教育課程に沿って円滑に学校運営に資することを目的として、教員用の教科書及び指導書の購入、修学旅行、校外学習等の教育活動に要する教職員等の入場料・見学科等を支出する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	小・中学校の運営に要する経費に対する決算額の割合。 【算定式: 決算額 / 当初予算額 * 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	85	85	85		
実績	76					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.15	1.15	7.50
正職員数	1.13	1.13	2.00
非正規職員数(計)	0.02	0.02	5.50
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	5.50
臨時職員数	0.02	0.02	0.00
■人件費総額(千円)	9,169	9,038	46,401
正職員人件費(換算額)	8,898	8,985	16,034
非正規職員人件費(計)	271	53	30,367
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	12,968
臨時職員人件費(実額)	271	53	17,399
■直接経費(千円)	0	20,584	18,744
■事務事業の総計(千円)	9,169	29,622	65,145
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	40
一般財源	9,169	29,622	65,105

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	教員用の教科書及び指導書の購入や、修学旅行、校外学習等の教育活動に要する教職員等の入場料・見学科等の支出に係る所要の事務を執行した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	小・中学教育の円滑な推進に向けて必要となる経費について、適正に確保するとともに、引き続き、支出に係る所要の事務を執行していく。	

事務事業実績測定調査

10316010013	小中一貫教育推進事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名	小中一貫教育推進事業	
総合計画体系②	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	60.子どもたちの安全確保を図るため、学校・家庭・地域などが連携し、子どもが安全に安心して学べる環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	コミュニティ・スクール推進事業	

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学習指導要領が求める学力を習得している状態				
事業概要	<p>子どもたちの「確かな学び」と「自立の力」を育み、グローバル時代をたくましく生きぬく子どもを育成するため、各中学校区がそれぞれの現状や課題に応じながら、特色を活かした小中一貫教育を推進する。</p> <p>○学力向上の取り組みとして、義務教育9年間を見通した学力向上の取り組みを推進するため、全中学校区に「小中一貫・学力向上推進コーディネーター」を核とした組織体制を確立し、「授業改善」及び「家庭学習の定着」に向けた取り組みの充実を図る。また、全国学力・学習状況調査結果を分析・活用した学力向上プランを作成し、児童・生徒の学力向上に取り組むとともに、小・中学校における学年会や教科会、学力向上委員会を定期的に開催することで、授業研究や教材・教具等の充実を図り、教職員の授業力向上と授業改善に努める。</p> <p>○指導体制の充実として、子どもたちの「確かな学び」と「自立の力」を育み、グローバル時代をたくましく生きぬく子どもを育成するため、小学1年生から4年生までは35人学級編制、小学校第5・6学年において、一部教科担任制や習熟度別指導・ティームティーチング等の少人数指導、中学校では、習熟度別指導等を含む少人数指導など、児童・生徒の発達段階に応じた指導体制の充実を図る。</p> <p>○体力向上の取り組みとして、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果等を分析・活用し作成した体力向上推進計画に基づき、各学校の児童・生徒の実態に合わせた取り組みを授業時間や休憩時間等、学校の教育活動全体で推進する。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	全国学力・学習状況調査における全国平均正答率から見た本市の平均正答率 【算出式: 枚方市の平均正答率 / 全国平均の平均正答率】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	倍
目標(予測)	—	1.01以上	1.01以上	1.01以上		
実績	1.00					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	15.80	15.75	12.80
正職員数	1.80	1.75	0.80
非正規職員数(計)	14.00	14.00	12.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	5.00
非常勤職員数	14.00	14.00	7.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	46,490	29,441	40,035
正職員人件費(換算額)	14,173	13,914	6,414
非正規職員人件費(計)	32,317	15,527	33,621
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	20,780
非常勤職員人件費(実額)	32,317	15,527	12,841
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	1,296	868
■事務事業の総計(千円)	46,490	30,737	40,903
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	46,490	30,737	40,903

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>◆学力向上の取り組み 全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置するとともに、学力向上委員会や教科会、学年会など校内組織体制の充実を図りながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取り組みを推進した。 研究指定校や学力向上担当者研修において、学識経験者による講義、指導助言によって、教員の授業力向上を図った。 全国学力・学習状況調査については、問題分析・自校採点及び調査結果の比較・分析を行い、教科会・学年会における授業研究において活用を図った。 また、教職員の意識を高めるとともに、保護者に学力状況をわかりやすく公表することで家庭と連携した学習習慣の確立に努めた。</p> <p>◆体力向上の取り組み 各小中学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施した。その結果に基づいて体力向上推進計画を作成し、実践した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、学力向上推進コーディネーターが中心となり、小中学校合同の会議を定期的に行い、それぞれの学校の取り組みを共有し、授業改善につなげていく。	

事務事業実績測定調査

10316010014	コミュニティ・スクール推進事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学校運営に地域住民や保護者が参画する体制が構築できた状態				
事業概要	<p>枚方市教育振興基本計画の基本方針6「地域とともにある学校づくりの推進」のため、コミュニティ・スクールを設置し、地域全体で教育に取り組む体制を構築する。保護者や地域住民等から構成され、学校運営や運営への必要な支援に関して協議する学校運営協議会をすべての学校に設置する。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対しての肯定的回答(4段階中4及び3)の割合 【算出式: 肯定的回答/回答者総数*100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	0.36
正職員数	0.00	0.00	0.36
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	2,886
正職員人件費(換算額)	0	0	2,886
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	281
■事務事業の総計(千円)	0	0	3,167
国庫支出金	0	0	41
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	3,126

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	地域とともにある学校づくりの推進のため、令和元年度は新たに22小学校が学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとなった。現在27校がコミュニティ・スクールとなっている。	
今後の方向性	拡充・重点化	
具体的な 今後の取組方策	コミュニティ・スクール報告会を開くなど、好事例の共有を進め、地域とともにある学校づくりの推進する。	

事務事業実績測定調査

10316020001	学校園活性化事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	57.充実した教職員研修等を通じて、高い指導力と意欲を持つ教職員の育成を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1998 (H10) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	教職員の資質向上及び授業改善等が図られ、学習指導要領等が求める教育課程を着実に執行できる状態				
事業概要	<p>全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校(園)内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等の取り組みを推進する。また、菊ひらかた・菊咲かそう体験事業や、小学校合同音楽会、漢字をテーマに思いを伝える作文コンクールの教育委員会が主体となる事業を実施する。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	研究成果を上げた学校園の割合 【算出式: 成果を上げた学校園数 / 全学校園数 * 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	3.48	4.18	1.57
正職員数	1.08	1.88	1.47
非正規職員数(計)	2.40	2.30	0.10
再任用職員数	0.20	0.10	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	2.00	2.00	0.00
臨時職員数	0.20	0.20	0.10
■人件費総額(千円)	15,188	21,239	11,977
正職員人件費(換算額)	8,504	14,948	11,785
非正規職員人件費(計)	6,684	6,291	192
再任用職員人件費(換算額)	889	492	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	5,575	5,579	0
臨時職員人件費(実額)	220	220	192
■直接経費(千円)	24,992	25,268	40,488
■事務事業の総計(千円)	40,180	46,507	52,465
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	40,180	46,507	52,465

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆全71校園が独自に設定した研究主題に沿って、外部講師を招へいするなど校内研修等に取り組んだ。 ◆公開授業は、70校園が実施した。(1校については、臨時休業等の対応により未実施となった。) ◆菊咲かそう体験事業は4月1日から実施し、全小・中学校及び幼稚園が菊花展に出展した。 ◆小学校合同音楽会は6月11日～10月30日に全小学校が実施した。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も全学校園で教員の授業力向上等のため、本事業を継続する。	

事務事業実績測定調査

10316020002	教育研究会補助事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	57.充実した教職員研修等を通じて、高い指導力と意欲を持つ教職員の育成を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	教職員の資質向上及び授業改善等が図られ、着実に園児・児童・生徒に学校教育が身に付いた状態				
事業概要	学習指導要領への対応等に向けて、教職員で構成される枚方市教育研究会に対して補助を行うことにより、研究・研修等を通じて教職員の資質向上に資する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	研究会活動により、資質向上及び授業改善等が図られたと感じている教職員の割合 【算出式: 肯定的意識を持つ教職員 / 全教職員 * 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.19	0.19	0.00
正職員数	0.19	0.19	0.00
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,496	1,511	0
正職員人件費(換算額)	1,496	1,511	0
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	1,496	1,511	0
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,496	1,511	0

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	補助金の支出なし	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	昨年度補助金の支出はなかったが、小学校は今年度から、中学校は来年度から完全実施となる新学習指導要領の趣旨を踏まえ、教職員の資質向上及び授業改善等を推進していく必要があることから、枚方市教育研究会に対する補助事業は継続するものとする。	

事務事業実績測定調書

10316030013	「まなびング」サポート事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003(H15)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	小・中学校学習指導要領で求められている学校教育を円滑に推進できる状態				
事業概要	小・中学校において、授業や放課後の時間に、教員を志望する大学生等を学習指導のサポーターとして配置し、児童・生徒の学習活動を支援する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	全国学力・学習状況調査における全国平均正答率から見た本市の平均正答率 【算出式: 枚方市の平均正答率 / 全国平均の平均正答】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	倍
目標(予測)	—	1.01以上	1.01以上	1.01以上		
実績	1.00					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.55	0.55	0.30
正職員数	0.45	0.45	0.30
非正規職員数(計)	0.10	0.10	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.10	0.10	0.00
■人件費総額(千円)	3,763	3,798	2,405
正職員人件費(換算額)	3,543	3,578	2,405
非正規職員人件費(計)	220	220	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	220	220	0
■直接経費(千円)	1,372	1,153	1,056
■事務事業の総計(千円)	5,135	4,951	3,461
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,135	4,951	3,461

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>各校からの要請に基づいて、まなびングサポーターを配置することにより当該校における円滑な学習活動を行うことができた。</p> <p>配置校数:小学校37校/45校 中学校8校/19校 配置人数:124人 活動回数:小学校1,843回 中学校142回</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	目標を概ね達成できていることから、現状の取り組みを継続していく。	

事務事業実績測定調書

10316030015	学校支援社会人等指導者活用事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2000 (H12) 年度		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	幼稚園教育要領及び小・中学校学習指導要領で求められている学校教育を円滑に推進できる状態				
事業概要	各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで、学校園と地域の連携を深め、幼児・児童・生徒の学習意欲の向上など、教育活動を活性化させる。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	学校支援社会人等指導者活用した学校園数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	校
目標(予測)	—	70	70	70		
実績	67					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.74	0.74	0.51
正職員数	0.54	0.54	0.41
非正規職員数(計)	0.20	0.20	0.10
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.20	0.20	0.10
■人件費総額(千円)	4,472	4,514	3,479
正職員人件費(換算額)	4,252	4,294	3,287
非正規職員人件費(計)	220	220	192
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	220	220	192
■直接経費(千円)	4,120	3,848	4,677
■事務事業の総計(千円)	8,592	8,362	8,156
国庫支出金	0	0	1,158
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	8,592	8,362	6,998

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>◆学校支援社会人等指導者により、各教科における指導補助(音楽科における和楽器指導、総合的な学習の時間や算数科におけるICTの活用等)や読み聞かせ、菊の栽培に関する指導等を実施し、教育活動の活性化を図った。</p> <p>活用校数:小学校45校/45校 中学校18校/19校 幼稚園7園/7園 学校支援社会人等指導者登録者数:296人 学校支援社会人等指導者活用回数:1,696回</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用し、活性化していく。	

事務事業実績測定調査

10316030017	中学校体育連盟補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各種大会に支障なく参加できる状態				
事業概要	<p>枚方市中学校体育連盟に対して補助を行うことにより、中学校の部活動の振興・充実を図り、生徒の責任感・連帯感を育む。</p> <p>◆枚方市中学校体育連盟は北河内地区中学校体育連盟と大阪中学校体育連盟に加盟しており、すべての中学校の各部が公式試合に参加できるよう、連盟加盟金を補助する。</p> <p>◆16種目の専門部ごとに開催する市内の公式試合へ参加</p> <p>◆全国中学校体育連盟主催の総合体育大会につながる公式試合へ参加</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	全生徒数に対する運動部所属の生徒の割合 【算出式: 運動部所属の中学生数 / 全中学生数 * 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	70	70	70		
実績	80					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.06	0.06	0.02
正職員数	0.06	0.06	0.02
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	472	477	160
正職員人件費(換算額)	472	477	160
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,352	1,348	1,303
■事務事業の総計(千円)	1,824	1,825	1,463
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,824	1,825	1,463

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	各運動部の公式試合(市・府)が開催され、各校が参加した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も引き続き補助を行うことで、中学校の運動部活動の振興と充実を推進する。	

事務事業実績測定調査

10316030019	部活動指導協力者派遣事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	枚方市立中学校部活動指導協力者派遣事業	
総合計画体系②	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名	枚方市立中学校部活動指導協力者派遣事業	

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1995(H07)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	顧問教員における授業等に割く時間の確保及び部活動の効果的かつ効率的な運営ができる状態				
事業概要	部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	部活動指導協力者活動時間数(=顧問教員の負担軽減時間数)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	時間
目標(予測)	—	10,640	10,640	10,640		
実績	10,059					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.60	0.60	0.47
正職員数	0.40	0.40	0.37
非正規職員数(計)	0.20	0.20	0.10
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.20	0.20	0.10
■人件費総額(千円)	3,589	3,619	3,158
正職員人件費(換算額)	3,150	3,180	2,966
非正規職員人件費(計)	439	439	192
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	439	439	192
■直接経費(千円)	14,977	14,177	12,926
■事務事業の総計(千円)	18,566	17,796	16,084
国庫支出金	0	0	3,263
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	18,566	17,796	12,821

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣した。</p> <p>派遣中学校数 19校 部活動指導協力者 112名</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、部活動の活性化と充実及び、顧問教員の生徒指導や授業研究の時間確保に向けて、部活動指導協力者を派遣する。	

事務事業実績測定調書

10316030022	道徳教育推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	小・中学校学習指導要領で求められている道徳教育を円滑に推進できる状態				
事業概要	推進指定校において、校内で組織的な研究推進体制を整え、「特別な教科 道徳」(道徳科)で求められている多様で効果的な指導方法の研究等を行う。その研究成果については、市内の全小・中学校に発信して普及を図り、道徳科の授業を充実させる。なお、当事業は平成28年度から大阪府教育委員会から委託を受けて実施している。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	公開授業等への参加校数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	校
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	64					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.08	0.08	0.10
正職員数	0.08	0.08	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	630	636	802
正職員人件費(換算額)	630	636	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	295	378	200
■事務事業の総計(千円)	925	1,014	1,002
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	377	200
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	925	637	802

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>新型コロナウイルス感染症予防の観点から、集合研修から動画視聴による遠隔研修に変更したが、全小中学校の道徳教育推進教師あてに道徳教育推進事業の研究推進校である枚方市立蹉跎小学校の成果報告及び道徳教育指導者養成研修(近畿ブロック)の伝達講習実施し、全小中学校が参加した。</p>	
今後の方向性	休止・終了	
具体的な 今後の取組方策	令和2年度については、文部科学省が本事業の中止を決定している。	

事務事業実績測定調査

10316030024	枚方市小学生陸上競技大会・駅伝競走大会事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000250	学校教育課教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1998(H10)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	競技を通じて、他校児童との交流及び体力向上が図れる状態				
事業概要	<p>市内小学校の児童が競技を通して交流を図り、スポーツをする喜びを感じてもらうとともに、児童の体力の向上を図るため、小学校陸上競技大会及び小学生駅伝競走大会を実施する。</p> <p>◆市内46小学校(市立小学校45校、関西創価小学校)の小学校5年生・6年生の参加による陸上競技大会を10月に実施する。</p> <p>◆市立小学校45校の小学校5年生・6年生の参加による駅伝競走大会を11月に実施する。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	大会を通じて他校児童との交流や体力向上が図られたと感じている参加者(4段階中4及び3)の割合 【算出式: 肯定的回答/回答者総数*100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	60	60	60		
実績	58					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.35	0.35	0.30
正職員数	0.35	0.35	0.30
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,756	2,783	2,405
正職員人件費(換算額)	2,756	2,783	2,405
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	4,330	4,228	4,343
■事務事業の総計(千円)	7,086	7,011	6,748
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,086	7,011	6,748

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	陸上競技大会 10月20日(日)開催 970人参加 駅伝競走大会 11月16日(土)開催 404人参加 各校で大会に向けて、計画的に練習に取り組んだ結果、体力向上につながった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	両大会の実施目的や対象等を総合的に踏まえ、継続の可否を検討していく。	

事務事業実績測定調査

10316030028	部活動等遠征費補助事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	家庭の経済状況に左右されることなく対外試合に参加できる状態				
事業概要	全国大会及び近畿大会等の対外試合に出場する生徒の遠征に係る費用に対して部活動遠征費を補助することにより、部活動の振興・充実を図り、生徒の責任感・連帯感を育み、中学校の部活動を助成する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	部活動に参加する生徒の割合 【算出式:部活動に所属する生徒数/全生徒数*100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	90	90	90		
実績	80					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	0.03
正職員数	0.00	0.00	0.03
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	241
正職員人件費(換算額)	0	0	241
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	157
■事務事業の総計(千円)	0	0	398
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	398

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>以下のとおり、全国大会及び近畿大会等の対外試合に出場する生徒の遠征に係る費用に対して補助を行った。 近畿大会:10校・5種目(水泳・陸上・ソフトテニス・柔道・サッカー)・35名 全国大会:3校・1種目(水泳)・3名 近畿インドア大会:1校・1種目(ソフトテニス)・2名 JOC:1校・1種目(陸上)・1名</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	当該補助制度の趣旨を踏まえて、引き続き継続していく。	

事務事業実績測定調査

10419040005	海外友好都市教育交流事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	71.本市が有する歴史文化遺産や淀川、東部地域の自然などの貴重な観光資源を効果的に発信し、地域内外の交流機会の創出を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1986(S61)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	海外友好都市の同世代の子どもたちとの交流により、愛国心や隣人理解、世界平和を願う心が育成される状態				
事業概要	<p>学校園において、上海市長寧区等の幼小中学校との文通や書画等の作品交流を実施することにより、次世代を担う子どもたちの、郷土や自国を愛し、隣人を理解し、世界平和を願う心を育成する。</p> <p>◆中国上海市等の海外の学校園との文通や書画交換等の友好交流を行う。</p> <p>◆友好交流締結校:山田中と天山中、西長尾小と天山新村第一小、高陵幼と愚園路第一幼</p> <p>◆友好交流校:菅原東小と霊巖郡鳩林初等学校、第四中と西延安中、長尾小と江蘇路第五小</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	作品展の入場者数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	—	500	500	500		
実績	489					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.20	0.20	0.20
正職員数	0.14	0.20	0.20
非正規職員数(計)	0.06	0.00	0.00
再任用職員数	0.06	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,369	1,590	1,603
正職員人件費(換算額)	1,102	1,590	1,603
非正規職員人件費(計)	267	0	0
再任用職員人件費(換算額)	267	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	155	161	176
■事務事業の総計(千円)	1,524	1,751	1,779
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,524	1,751	1,779

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>◆学校園において、上海市長寧区等の幼小中学校との文通や書画等の作品交流を実施することにより、次世代を担う子どもたちの、郷土や自国を愛し、隣人を理解し、世界平和を願う心の育成に取り組んだ。 上海市長寧区児童書画展: 枚方市立中央図書館において開催。展示期間は、令和2年1月11日～16日。作品数100点。来場者数724人。友好交流締結校6校園で巡回展示を実施。</p> <p>◆中国上海市等の海外の学校園との文通や書画交換等の友好交流を実施した。 友好交流締結校: 山田中と天山中、西長尾小と天山新村第一小、高陵幼と愚園路第一幼 友好交流校: 菅原東小と靈巖郡鳩林初等学校、第四中と西延安中、長尾小と江蘇路第五小</p> <p>◆第24回国際交流こども絵画展では、複数の国のこどもの作品を展示し、来場者からの肯定的なコメントを複数得ることができた。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	現在交流関係ある国との協力を継続し、今後も次世代を担う子どもたちの、郷土や自国を愛し、隣人を理解し、世界平和を願う心の育成に取り組む。	

事務事業実績測定調書

10527020010	学校版環境マネジメントシステム事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち	
	取り組みの方向	91.市民や事業者、行政などあらゆる主体が連携・協力しながら、環境教育・学習を推進するとともに、省エネルギーの取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2005(H17)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	園児・児童・生徒に、地球環境の保全をベースにした日常生活における行動態様が身に付いた状態				
事業概要	学校園において、PDCAサイクルを活用した枚方市独自の学校版環境マネジメントシステムを運用し、幼児・児童・生徒及び教職員の環境に対する意識の向上を図る。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	二酸化炭素削減量が昨年度と比べて減った学校園数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	学校園
目標(予測)	—	25	30	30		
実績	26					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.43	0.23	0.20
正職員数	0.43	0.23	0.20
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,386	1,829	1,603
正職員人件費(換算額)	3,386	1,829	1,603
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	3,386	1,829	1,603
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,386	1,829	1,603

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>学校園において、PDCAサイクルを活用した枚方市独自の学校版環境マネジメントシステムを運用し、幼児・児童・生徒及び教職員の環境に対する意識の向上を図った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	目標を達成できていることから今後も現状のまま継続する。	

事務事業実績測定調書

10999990089	教育指導課運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000250	学校教育部教育指導課
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	庶務事務等を適切に処理することにより、当課所管事務・事業を円滑に執行できる状態				
事業概要	課の運営事務				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.40	1.60	2.68
正職員数	0.50	0.50	1.65
非正規職員数(計)	0.90	1.10	1.03
再任用職員数	0.60	0.80	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.30	0.30	1.03
■人件費総額(千円)	7,262	8,573	15,207
正職員人件費(換算額)	3,937	3,976	13,228
非正規職員人件費(計)	3,325	4,597	1,979
再任用職員人件費(換算額)	2,666	3,938	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	659	659	1,979
■直接経費(千円)	0	5,359	1,320
■事務事業の総計(千円)	7,262	13,932	16,527
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	396
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,262	13,932	16,131

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	..	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	..	